

H30.7.25

H30年度  
東京都相談支援従事者研修会  
現任研チームについて

H30年度現任研チーム／吉澤

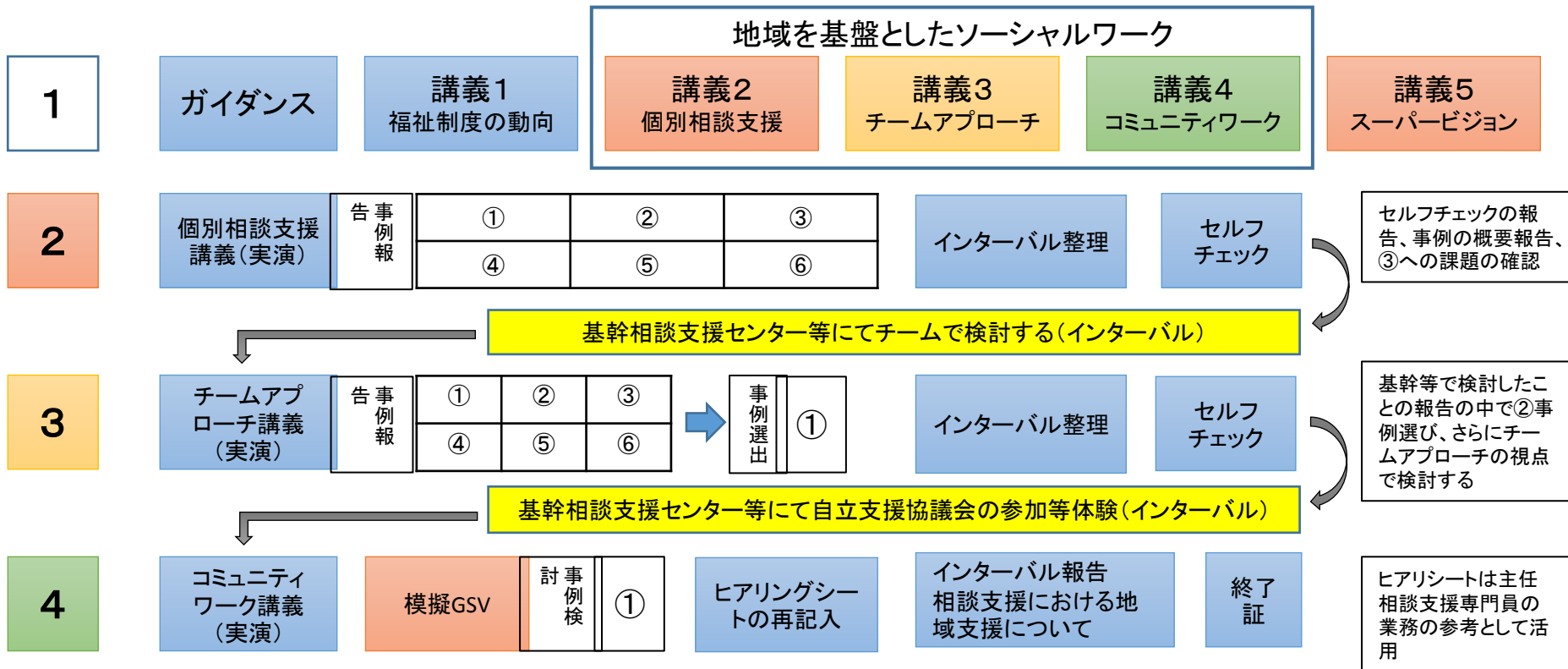
# 国研修で示された現任研のモデル

資料1

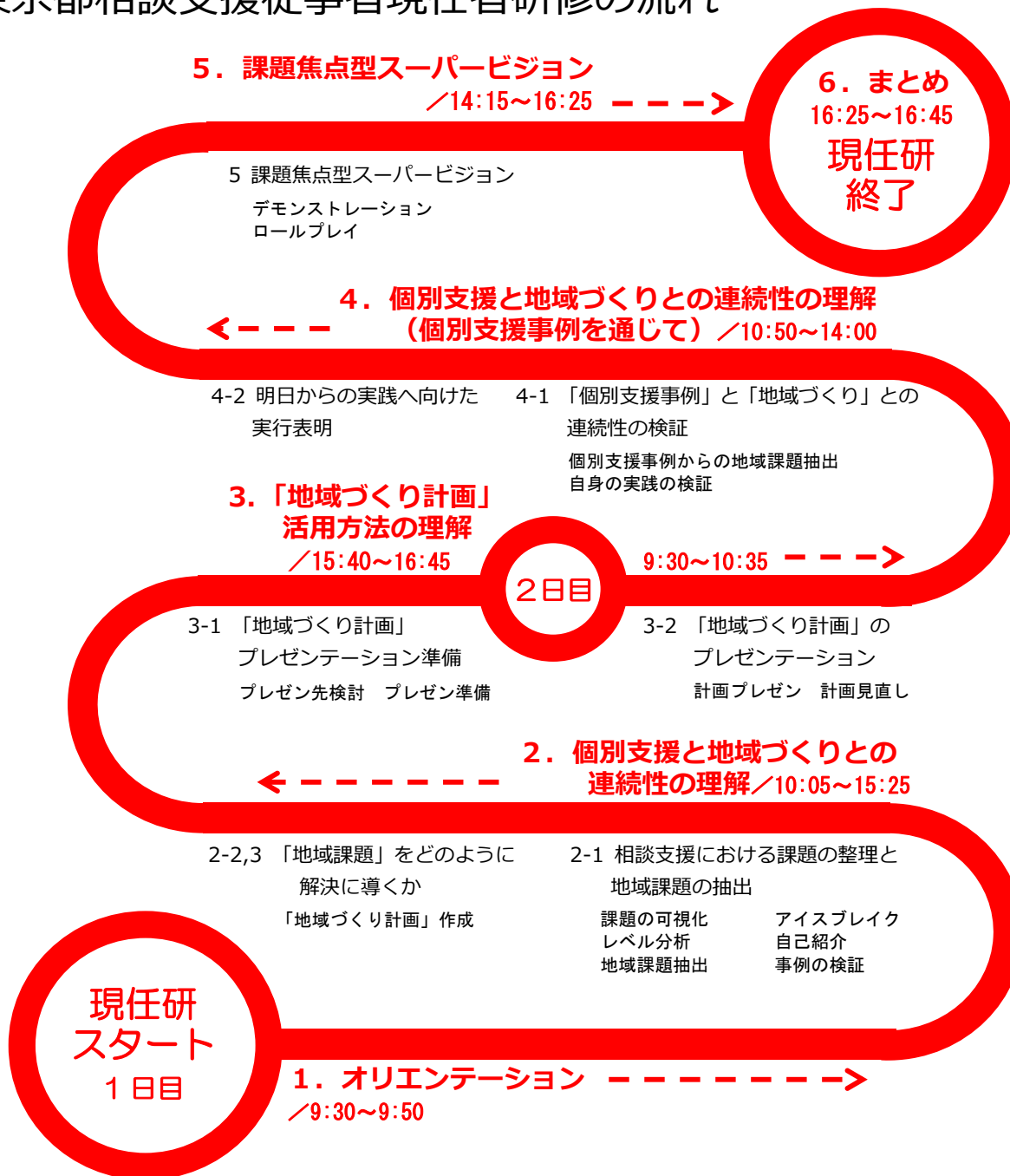
## 現任研修の構造

### 獲得目標

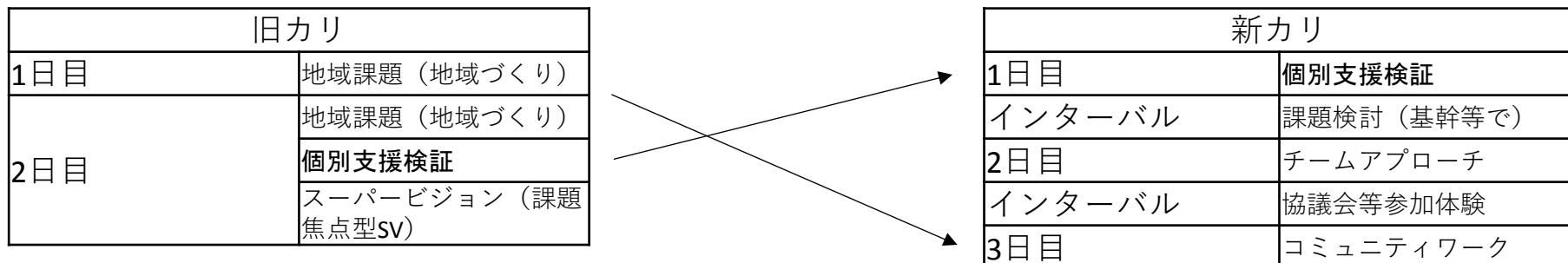
- ①相談支援の基本的業務を確実に実施できる。
- ②チームアプローチ(多職種連携)の理論と方法を理解し、実践の中でチームアプローチが実践できる。
- ③コミュニティワーク(地域とのつながりやインフォーマルの活用等)の理論と方法を理解し、実践できる。



# H29年度以降の東京都相談支援従事者現任者研修の流れ



# 旧カリから新カリへの移行イメージについて



## 1. おおまかな構成

- ・国の標準カリキュラム

## 2. 旧カリとの関係

- ・「地域課題（地域づくり）」は「コミュニティワーク」へ
  - ・「個別支援検証」は「個別支援検証」へ
- かたちを変えて移行することができる

## 3. 課題

- ・「チームアプローチ」について、一から企画する必要がある。
- ・「インターバル」について、一から企画する必要がある。
- ・「スーパービジョン」について、取り扱いを整理する必要がある。
- ・事例を持ち寄る際の留意事項について検討する必要がある。



## 今後の流れー2) スケジュール(案)

8月	個別支援検証	チームアプローチ	コミュニティワーク
9月	↓	↓	↓
10月	インターバル1		インターバル2
11月	全体共有	調整	
12月		資料作成	講義検討
1月	資料共有	調整	
2月	現任研モデル研修／チームアプローチ等部分的に		
3月	モデル研修を踏まえた調整／次年度への引継ぎ事項整理		